

輝き

Kagayaki

協働!感動!躍動!

きょうどう かんどう やくどう

いきいきと輝くまち・三鷹

Vol.8

2010年7月31日発行



【発行者】清原けい子後援会事務所 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭1-14-23 Tel&Fax.0422-71-0150

市政施行60周年を迎え、持続可能な 高環境高福祉のまちづくりの推進を

三鷹市長
清原 慶子

皆様、こんにちは、三鷹市長の清原慶子です。いつもいつも、後援会の皆様はじめ市民の皆様には、まごころのこもったご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

三鷹市は今年の11月3日に、60回目の誕生日を迎えます。「三鷹町」から「三鷹市」になって60年目である今年、6代目の三鷹市長として、歴史に学び未来を築くためのさまざまな記念事業を、市民の皆様との協働で進めることができますことを心から幸いに思います。また、三鷹市民にとって大切な、JR三鷹駅が、今年で開業80周年を迎えました。私は、6月26日に開かれた記念セレモニーで女性の市長としては初という「一日駅長」を務めました。当日から、三鷹駅の各ホームの発車メロディーが、市内在住で今年没後10年を迎えた中田喜直さん作曲の「めだかの学校」になりました。

私は、市制施行60周年は、三鷹市にとって1つの大切な節目であると同時に、未来に向けた大切な布石を打つべきタイミングであるとも受け止めています。三鷹の地域に脈々と続く歴史と文化を、次の世代に継承していくとともに、少子長寿化や情報化が急速に進む時代であって、まちづくりの視点からは「都市の再生」と「コミュニティの創生」に取り組むことが重要であると思います。今までの三鷹市の活動の実績を生かして、今後も「持続可能な高環境高福祉のまちづくり」を推進していきたいと思っています。

さて、市制施行60周年を期して、三鷹市ゆかりのお2人の方に名誉市民章をお贈りしたいと、市議会の6月定例会で推挙の提案を行い、全会

一致でご同意をいただきました。国際的にご活躍の天文学者で初代の国立天文台長であり、文化功労者の古在由秀さんと、アニメーション映画監督で三鷹市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）館長の宮崎駿さんのお2人です。国立天文台と井の頭公園という、三鷹市の西と東に位置する大切な「森」にご縁の深いお二人のご活躍は、私たちが未来に向けて、三鷹市の自然と文化、歴史を大切に、参加と協働のまちづくりを進めて行く上で、市民として大いなる誇りです。

国際的にも、国内的にも、変動の激しい現代社会あって、三鷹市という地域では、市民の皆様への心へのふれあいと支え合い、相互に敬意を表し合う人間関係が豊かにあり続けるための取り組みが多様に存在します。これからも、三鷹市政の発展のために誠心誠意努めていきたいと思っています。

